



加清純子 Junko. Kasei

加清純子 1951年4月(17歳)

特別展

# 「よみがえれ! とこしえの加清純子」 再び

70年間封印されていた秘蔵資料を初公開

2022年 1月22日(土)～3月21日(月・祝)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、会期は変更となる場合があります。その際は、ホームページ等でお知らせします。

月曜休館 ただし、3月21日(月・祝)は開館 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料:一般700(560)円 高大生450(360)円 小中生300(240)円

65歳以上の方450(360)円 ( )内は10名以上の団体料金

学校教育活動の一環として観覧する小中高生と引率教員、児童・老人施設に入所している方とその引率者、障害者手帳等をお持ちの方とその引率者、生活保護を受けている方などは無料となります。

主催:北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者)、北海道新聞社  
後援:北海道、札幌市、札幌市教育委員会

背景の図:〈衝撃(行進)〉1950(昭和25)年、油彩・キャンパス、当館蔵(部分、加工)

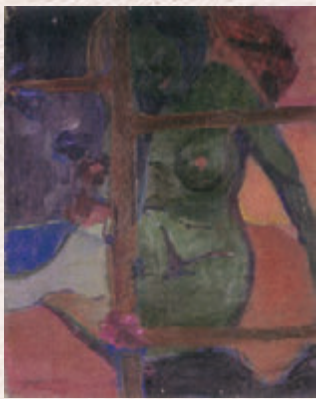


中島公園

北海道立文学館 特別展示室

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

TEL. 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp>



〈少女〉油彩・キャンバス、当館蔵  
\*新受贈作品



加清純子 1950年1月(16歳)

戦後まもない札幌の街をきらめく感性とたぐいまれな表現力でさっそうと駆け抜けた「天才少女画家」加清純子(1933〜52年)。15歳で道展に入選し、自由美術展など中央画壇で活躍する一方、「二重SEX」などの鮮烈な小説を発表し、文学の方面でも注目を集めました。しかし、18歳の冬、阿寒山中で唐突に生涯を閉じています。2019年に当館で開催された特別展「よみがえれ!とこしえの加清純子」は、大きな反響をよびました。その後、実弟で詩人の暮尾淳(1939〜2020年)が保管していた作品など16点が当館に収蔵されました。本展では、新受贈作品を含む36点の絵画を公開し、70年間封印されていた写真や遺品など貴重資料も初めて紹介します。さらにこのたび、「加清純子とこしえプロジェクト」、東京藝術大学保存修復油画研究室などの協力で、傷みの著しかった作品の状態を安定化させることができました。また、文学の関連では、この度明らかになった、「清瀬瞬子」の名で発表された作品にも注目し、反権威世代(アプレゲール)を象徴する加清純子の青春に再び迫ります。併せて終生、純子への追想を書き続けた暮尾淳の人間味あふれた抒情詩の世界も紹介します。



〈衝撃(行進)〉1950(昭和25)年、油彩・キャンバス、当館蔵



〈チルチルとミチル〉1951(昭和26)年、油彩・板、当館蔵  
\*新受贈作品

## 美も醜も、善も悪もすべて人間の生きる為の一つの道具である。

加清純子「美の抛物線」(「青銅文学」第16号 1955年5月掲載)より

### 関連イベント

#### ●オンライン・オープニング・セレモニー

オープニング・セレモニーの様子を動画で配信します。下記当館ホームページにて1月22日(土)12:00から3月21日(月・祝)17:00までご覧いただけます。

<http://www.h-bungaku.or.jp/>

\*インターネット環境が必要です。



こちらのQRコードからアクセスいただけます。

#### 記念講演会1 (オンライン実施) 「わたしの記憶——加清純子の時代」

講師：荒巻義雄(SF作家)  
配信期間：2月1日(火)12:00〜3月21日(月・祝)17:00 無料

\*お申し込みいただいた方に、講演の動画を配信します。  
\*インターネット環境が必要です。

\*申込は、ホームページから <http://www.h-bungaku.or.jp/>

1月7日(金)9:00より1月31日(月)17:00まで受付

#### ●記念講演会2 「淳一と純子—1950年の札幌の青春を歩く」

2月11日(金・祝)14:00〜15:00 当館講堂 無料

講師：谷口孝男(当財団理事)

\*要申込：1月25日(火)9:00より電話で 先着25名

#### ●記念講演会3

##### 「加清純子作品の保存修復の実際」

2月20日(日)14:00〜15:00 当館講堂 無料  
講師：土屋裕子(東京藝術大学保存修復油画研究室教授)  
\*要申込：2月4日(金)9:00より電話で 先着25名

#### ●朗読会「加清純子をめぐって」

朗読作品：渡辺淳一「阿寒に果つ」、加清純子「偽りの作」ほか  
3月5日(土)14:00〜15:00 当館講堂 無料

朗読：宮下郁子(朗読講師)

\*要申込：2月17日(木)9:00より電話で 先着25名

#### ●上映会

##### 「もうひとつの『阿寒に果つ』—氷の自画像を尋ねて」

制作：HBC北海道放送 1996年  
3月11日(金)、3月12日(土)  
各日とも ①11:00〜12:00 ②14:00〜15:00 (同内容で4回)  
当館講堂 無料

\*要申込：2月22日(火)9:00より電話で  
上記より、ご希望の回をお伝え下さい。各回先着25名

#### ●みどころ解説

2月17日(木)、24日(木)、3月3日(木)

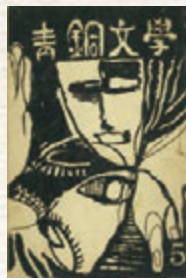
10:30〜11:00 当館講堂 無料

\*要申込：2月3日(木)9:00より電話で 各回先着25名

ご案内：本展担当学芸員



〈ゆり〉コラージュ・紙、当館蔵  
\*新受贈作品



「青銅文学」第5号 1952年9月 当館蔵



「独活の芽」(1951年3月) 渡辺淳一文学館蔵

#### ●常設展のご案内／北海道の文学(通年開催)

北の大地に育まれてきた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。  
観覧料：一般500円(400)円、高大生250円(200)円 ( )内は10名以上の団体  
65歳以上、中学生以下無料。高校生は土曜日無料。\*詳細はお問い合わせください。

●常設展文学館アーカイブ 「有島武郎の『星座』」1月19日(水)〜3月13日(日) 常設展示室内  
明治の札幌農学校の学生たちを描いた未完の小説『星座』の世界を紹介します。

#### ●次回特別展 ファミリー文学館「花・彩ター文学の中に咲く」

4月16日(土)〜6月5日(日) 観覧無料

ご来館のお客様へ 入館にあたってのお願い  
◇発熱や体調不良などの症状のあるお客様はご来館をお控え下さい。  
◇館内入口にて検温を行います。37.5度以上の発熱が認められた場合、入館をお断りします。  
◇咳エチケット、ソーシャル・ディスタンスにご協力ください。  
◇マスクの着用をお願いします。

緊急連絡先記入のお願い  
来館者や職員に新型コロナウイルスによる感染者が発生した場合に、その事実を皆様にお伝えするため連絡先の登録をお願いしています。

## 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

交通案内：地下鉄南線【中島公園駅(出口③)】または【幌平橋駅(出口①)】から徒歩6分  
市電「中島公園通」停留所下車徒歩10分  
JRバス・中央バス「中島公園入口」より徒歩4分

【お問い合わせ】

TEL:011-511-7655

<http://www.h-bungaku.or.jp>

フェイスブック  
ツイッターでも  
情報発信中!

施設設置者：北海道教育委員会  
(教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課(代)011-231-4111)  
指定管理者：公益財団法人北海道文学館

